

タイトル：P-01(SA)-2024

「日本・アラムコ製油所間の課題解決事業」ワークショップ

世界最大の石油企業 サウジアラムコ（以下、「アラムコ」）と、日本の石油元売り3社（出光興産、ENEOS、コスモ石油）が、12月2日から6日まで、標記ワークショップを日本で行いました。このJCCP事業は、アラムコと日本側3社が、製油所の改善や課題解決の取組事例等を互いに紹介し、ワークショップ形式で議論し、日本・サウジアラビア双方の操業改善、若手技術者育成等に資することを目的としています。

アラムコからは本社及び3主要製油所から4名が来日し、JCCP池袋本部でのオープニングの後、コスモ石油 堺製油所、ENEOS 大分製油所にて現地でのワークショップを実施しました。

コスモ石油 堺製油所では、製油所の運転管理、オペレータ教育をテーマに、ENEOS 大分製油所では、設備管理とDXをテーマに、双方からの事例紹介と活発な意見交換が行われました。

率直な意見交換を通じて、日本企業とアラムコに共通する課題があることも確認でき、今後の更なる取組に繋がることが期待されます。

